地質ニュース

昭和52年6月

第 274 号

1977

角径 話兒	東北地方におけるリニアメントと鉱床分布の関連について 地質構造開析 鉱物資源探査におけるリモートセンシング技術(II)・・・・・ 小 委 員 会・・1
	昭和52年度の地質調査所の研究(2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	わが国における大深度ボーリングの現状③ ·····加 藤 完··31 進・31
	昭和51年度の海外関係業務をふりかえって ・・・・海外地質調査協力室・・38
	海 峡 形 成 史 V 海岸平野の軟弱地盤層の深度分布からの検証・・・・・・・・・大 嶋 和 雄・・48
国際会議	太 平 洋 地 域 の 上 部 新 生 界 (その3)・・・・・・福 田 理・・54 〜第1回太平洋地域新第三系国際会議より〜
	藤 岡 一
	学 会 掲 示 板30
	地 学 と 切 手47
	編集地質調査所

表紙の写真

発 行 株式会社 実業公報社·

LANDSATデータからの合成フオルスカラー映像

東北地方北部 脊梁山地から太平洋側をカバーした LANDSAT 映像 (ID No. 1090—00470 1972年10月21日撮影) の各バンド毎に 異なる 原色 <u>B</u>lue, <u>G</u>reen, <u>R</u>ed を与えて発色させた合成カラー画像の例を示 す. バンドと原色の組み合わせは 次のとおりである.

	MSS-4	MSS 5	MSS 6	MSS-7
①左上画像	В	R	_	G
②右上画像		В	R	G
③左下画像	В	G	_	R
④右下画像	_	B G	_	R

発色のさせ方によって 抽出対象物が強調され 他のパターンからの敵別を容易にすることができる。 近赤外領域における植物の反射率が高いため 本地域の例では MSS パンド7の発色が支配的である。 ④は米国地質調査所で一般的に用いられる発色方式である。

(提供 財団法人 産業研究所)